

熊本中央病院を受診された患者さま、研究対象者のみなさまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

以下の臨床研究に関しては、個人情報情報を匿名化した上で学会、研究会等への利用をさせていただいております。

内容をご確認いただき、研究対象者となることを希望されない方は下記お問い合わせ先へご連絡ください。

研究課題名	頚椎前方除圧固定術後の器質性嚥下障害の経過分析
研究責任者	リハビリテーション科 言語聴覚士 牛島敏之
本研究の目的・意義	<p>頚椎疾患に対する手術法のアプローチとして頚椎前方法は広く用いられているが、注意すべき合併症も多く存在する。中でも術後の嚥下障害発生はよく知られている重要な合併症であるが、嚥下障害の重症度や嚥下可能な食事形態選択における研究は少ない。</p> <p>当院でも頚椎前方除圧固定術後の嚥下障害は一定の割合で生じており、誤嚥リスク上昇などの要因となっている。今回、嚥下障害発生時の誤嚥リスク軽減に役立てることを目的として、嚥下障害重症度の要因分析、術後の嚥下困難感に対応させた食事形態の選択方法について検討を行う。</p>
研究予定期間	委員会承認後から2023年12月31日まで
該当資料・データ	対象となる患者さま:2023年1月1日～2023年12月31日の間、当院で頚椎前方除圧固定術を受けられた患者様。 利用する情報:電子カルテに記載のある診療記録・検査データを利用します。
個人情報の取扱い	<p>診療録から得られたデータから、氏名、生年月日、手術日など個人情報を識別可能な症状を削除し、個人情報とは無関係の番号をつけ匿名化を行います。</p> <p>個人識別情報と付加番号の対応表はリハビリテーション科にて作成し、各科の個人情報管理者が厳重に管理し、その他の関係者、担当者には渡しません。データ解析の際は、匿名化後のデータのみを扱うため、個人を特定できる情報は含みません。研究の成果を学会、誌上に公開する際も個人を特定できる形では公表しません。</p>
共同研究機関	無し
本研究の資金源	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話:096-370-3111(代表) 担当者:言語聴覚士 牛島敏之(リハビリテーション科)